

1 1. 講習詳細情報（抜粋）

以下は、抜粋版です。詳しくは、本学更新講習ホームページ上の免許状更新講習管理システム掲載の講習詳細情報をご覧ください。なお、講習内容、担当講師等については変更する場合がありますので、ご了承ください。

① 必修講習（全ての受講者が受講する領域）

講習番号（必修講習）：1	
開設講習名	教育の最新事情
開講日程	7月20日から9月10日
担当講師	「必修講習担当講師一覧（下表）」のとおりです。
講習の概要	国の教育政策、世界の教育の動向、教職についての省察、子どもの発達に関する最新の知見、子どもの変化について、各分野の専門スタッフがそれぞれの専門性をいかしつつ分担することにより、受講者が現在の教職に求められる専門的な知識を学ぶとともに、今日的な教育課題についていっそう深く考えられるようになることを支援する。
認定試験	講習終了後に筆記試験を行い、評価します。
教材・参考資料	当日に、教材・参考資料等を配付します。
受講者の方へ	教員としての日頃の自分を振り返り、課題整理をしておいてください。

※12ページ「7.（1）講習一覧①必修講習」と併せてご覧ください。

<必修講習担当講師一覧>

領域	氏名
領域1 子どもの変化と教職についての省察	池嶋 伸晃、臼井 智美、柏木 賀津子、佐藤 雄一郎、瀬戸口 昌也、高橋 一郎、高松 みどり、田中 真秀、中橋 美穂、八田 幸恵、福田 敦志、吉川 年幸、吉田 茂孝
領域2 特別支援教育の現状と課題	井坂 行男、今枝 史雄、大内田 裕、須田 正信、富永 光昭、西山 健、平賀 健太郎、正井 隆晶、山本 利和、湯浅 哲也
領域3 子ども理解の教育心理学	梅川 康治、大河内 浩人、小松 孝至、白井 利明、高橋 登、戸田 有一、庭山 和貴、水野 治久、渡邊 創太

② 選択必修講習（受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域）

講習番号（選択必修）：1	
開設講習名	「Society5.0時代の学校をめぐる変化」、「学校の危機管理と課題」
開講日程	7月20日から9月10日
担当講師	寺嶋 浩介、岩切 昌宏、大道 乃里江、後藤 健介、小山 健藏、瀧野 揚三、豊沢 純子、藤田 大輔
講習の概要	「Society5.0時代の学校をめぐる変化」 Society5.0時代とはどういったものかについて確認をした上で、学校を巡る近年の状況の変化について、各種報道、調査、統計などを用いて解説する。 「学校の危機管理と課題」 学校における危機管理は重要な課題である。ここでは学校内外の安全確保や、情報セキュリティなどの近年の課題も踏まえて、学校における危機管理上の課題について論じる。 ※当講習では二つの内容を取り扱います。
認定試験	講習終了後に郵送による筆記試験を行い、評価します。
教材・参考資料	WEBによる教材・参考資料等を配布。
受講者の方へ	教員としての日頃の自分を振り返り、課題整理をしておいてください。

講習番号（選択必修）：2	
開設講習名	「組織的対応の必要性とチーム学校づくり」、「学校の危機管理と課題」
開講日程	7月20日から9月10日
担当講師	和田 良彦、田中 満公子、岩切 昌宏、大道 乃里江、後藤 健介、小山 健藏、瀧野 揚三、豊沢 純子、藤田 大輔
講習の概要	「組織的対応の必要性とチーム学校づくり」 学校における組織的対応の必要性について、法の改正や学校に求められる業務の変化等から説明するとともに、チーム作りについての検討を行う。 「学校の危機管理と課題」 学校における危機管理は重要な課題である。ここでは学校内外の安全確保や、情報セキュリティなどの近年の課題も踏まえて、学校における危機管理上の課題について論じる。 ※当講習では二つの内容を取り扱います。
認定試験	講習終了後に筆記試験を行い、評価します。
教材・参考資料	講習終了後に郵送による筆記試験を行い、評価します。
受講者の方へ	「組織的対応の必要性とチーム学校づくり」 チームとしての学校の現状とあなたの役割について、課題整理をしておいてください。 「学校の危機管理と課題」 教員としての日頃の自分を振り返り、課題整理をしておいてください。

講習番号（選択必修）：3	
開設講習名	教育相談－学校生活で苦戦する子どもへの具体的な支援－
開講日程	7月20日から9月10日
担当講師	上田 裕美、家近 早苗、柿 慶子、平井 美幸、牧 郁子
講習の概要	学校での教育相談についてとらえ、カウンセリングの基礎的な知識を含む教育相談の理論と実際について概説する。また、不登校やいじめなどの問題に対する理解を深めるとともに、学校で苦戦している児童生徒、保護者との良好な関係を作るための対応の基礎を身につけることを目指す。さらに、学校生活における児童・生徒への支援のあり方について研究を踏まえながら解説する。さらに、児童・生徒への具体的な関わり方について、事例、体験を通して学習する。
認定試験	講習終了後に郵送による筆記試験を行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料は、当日に配付します。生徒指導提要(2010)は受講前に読んでおくことが望ましい。
受講者の方へ	生徒指導提要(2010)は受講前に読んでおくことが望ましい。

③ 選択講習（受講者が任意に選択して受講する領域）

講習番号（選択）：1	
開設講習名	幼小をつなぐ学びと遊びのカリキュラムマネジメント
開講日程	7月22日
担当講師	佐久間 敦史
講習の概要	幼児教育から小学校教育への連続した学び（遊びから生活科・国語等）について考えます。前半は理論編です。学びの基礎・基盤である幼児教育の小学校生活科への発展について概説します。後半は実践編です。ゲストスピーカーを招き（予定）、スタートカリキュラムについて、特に「くぐらせ期の教育」の演習を行います。参加者が共に楽しく学び、互いの経験を交流するなかで、校園の互いの良さを共有していきます。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講習中に必要な資料等を、当日配布します。 参考資料：「小学校学習指導要領解説・生活編」（平成29，文科省）他、「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書」等
受講者の方へ	終日、グループで活動します。新聞紙3枚（3日分ではない）が必要です。時程は目安です。活動の様子を見ながら、相応な休憩をとっていただく場合もあります。尚、班分けの都合上、可能な限りアンケートの経験年数などにお答えください。

講習番号（選択）：2	
開設講習名	特別支援教育の現状と課題1
開講日程	8月4日
担当講師	大内田 裕、山本 利和、富永 光昭、井坂 行男、西山 健、須田 正信、平賀 健太郎、正井 隆晶、今枝 史雄、湯浅 哲也
講習の概要	インクルーシブ教育システム構築をめぐる現在の教育・研究の動向について、特別支援教育学・特別支援心理学・特別支援臨床学の各専門分野から多角的に講義及び討論を併せ行う。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材参考資料は、当日配布します。
受講者の方へ	山本利和担当の講習は、ロービジョン体験キット（日本ライトハウス）作成のためハサミ、セロテープを持参のこと。 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱、発達障害をそれぞれ専門にする10名の講師が、自身の専門の視点から「特別支援教育の現状と課題」について講義するため、「特別支援教育の現状と課題1・2・3」は講師ごとに内容は異なります。

講習番号（選択）：3	
開設講習名	特別支援教育の現状と課題2
開講日程	8月6日
担当講師	大内田 裕、山本 利和、富永 光昭、井坂 行男、西山 健、須田 正信、平賀 健太郎、正井 隆晶、今枝 史雄、湯浅 哲也
講習の概要	インクルーシブ教育システム構築をめぐる現在の教育・研究の動向について、特別支援教育学・特別支援心理学・特別支援臨床学の各専門分野から多角的に講義及び討論を併せ行う。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材参考資料は、当日配布します。
受講者の方へ	山本利和担当の講習は、ロービジョン体験キット（日本ライトハウス）作成のためハサミ、セロテープを持参のこと。 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱、発達障害をそれぞれ専門にする10名の講師が、自身の専門の視点から「特別支援教育の現状と課題」について講義するため、「特別支援教育の現状と課題1・2・3」は講師ごとに内容は異なります。

講習番号（選択）：4	
開設講習名	特別支援教育の現状と課題3
開講日程	8月23日
担当講師	大内田 裕、山本 利和、富永 光昭、井坂 行男、西山 健、須田 正信、平賀 健太郎、正井 隆晶、今枝 史雄、湯浅 哲也
講習の概要	インクルーシブ教育システム構築をめぐる現在の教育・研究の動向について、特別支援教育学・特別支援心理学・特別支援臨床学の各専門分野から多角的に講義及び討論を併せ行う。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材参考資料は、当日配布します。
受講者の方へ	山本利和担当の講習は、ロービジョン体験キット（日本ライトハウス）作成のためハサミ、セロテープを持参のこと。 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱、発達障害をそれぞれ専門にする10名の講師が、自身の専門の視点から「特別支援教育の現状と課題」について講義するため、「特別支援教育の現状と課題1・2・3」は講師ごとに内容は異なります。

講習番号（選択）：5	
開設講習名	学校におけるソーシャルワーク・福祉教育領域からの教育支援・教育協働
開講日程	7月22日
担当講師	新崎 国広
講習の概要	学校と家庭・地域の協働のあり方について、ソーシャルワークや福祉教育・ボランティア学習の視点から学ぶ。池田寛が構想した「教育コミュニティ」や文科省「連携協働の進むこれからの学校教育と教育支援・教育協働」について「チーム学校」「教育支援・教育協働人材」等のキーワードをもとに概説する。加えて、発達障がい・学習障がい等の「理解されにくい障がい」のある子への通常学級における支援のあり方についても概説する。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	同時双方向型の遠隔講習の場合でも、グループ演習を行う予定にしています。その場合は、通信状況が良好な場所からご参加頂くようお願いいたします。熱心な聴講を希望します。一緒に学んでいきましょう！

講習番号（選択）：6	
開設講習名	学級単位で行う心理教育の進め方ーアンガーマネジメント教育プログラムを例にー
開講日程	7月22日
担当講師	寺坂 明子
講習の概要	子どもの心理的・社会的健康を増進することを目的に行われる予防的心理教育の学校教育への導入が広まりつつあります。本講習では、学級単位で行う心理教育について概説し、心理教育の一例として、講師らの作成したアンガーマネジメント教育プログラムを取り上げ、ロールプレイを通じて心理教育の進め方を体験的に学びます。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講義内で配布する。
受講者の方へ	ロールプレイを含む体験型の講習ですので、積極的にご参加ください（実施方法によってはロールプレイが行えない場合もあります）。

講習番号（選択）：7	
開設講習名	教育相談・保護者面接に活かすカウンセリング技法
開講日程	8月4日
担当講師	山口 正寛
講習の概要	教育相談や保護者面接では、「傾聴」や「共感」の大切さは言うまでもありませんが、これらを伝えることは意外と難しいものです。カウンセリングに基づくこのような基本姿勢を身につけることは、相談者自らが問題解決に向けて動き出していくことを支えていくためにも重要です。この講義では、教育相談や保護者面接に活かすカウンセリングの諸技法を実習形式で学ぶとともに、相談者自身が問題解決に向き合うために必要な援助技法を学びます。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講習用の資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	同時双方向型の遠隔講習の場合でも、グループ演習を行う予定にしています。その場合は、通信状況が良好な場所からご参加頂くようお願いいたします。

講習番号（選択）：8	
開設講習名	地域学校協働と社会教育①
開講日程	8月10日
担当講師	高嶽 裕樹
講習の概要	まず図書館全体について概観したうえで、公立図書館・学校図書館に通底する原理であり、民主主義を維持するに必須の概念である「図書館の自由」について、理解の確認テストを交えながら講義する。その後、「図書館の自由」に関する事例をとりあげ、受講者間でのグループディスカッションを行うことで、「図書館の自由」にたいする理解を深める。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	座学に加えて随時グループワークをおこないますので、積極的な参加を期待しています。また、「地域学校協働と社会教育①・②・③」の講習は、連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：9	
開設講習名	地域学校協働と社会教育②
開講日程	8月18日
担当講師	出相 泰裕
講習の概要	生涯学習・地域教育をめぐる動向を踏まえつつ、地域学校協働の意義および実践、課題などについて考える。本授業では、具体的には、社会教育に焦点をあて、社会教育による学校教育の支援の理念と実践を取り上げる。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	座学に加えて随時グループワークをおこないますので、積極的な参加を期待しています。また、「地域学校協働と社会教育①・②・③」の講習は、連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：10	
開設講習名	地域学校協働と社会教育③
開講日程	8月23日
担当講師	未定
講習の概要	生涯学習・地域教育をめぐる動向を踏まえつつ、地域学校協働の意義および実践、課題などについて考える。本授業では、具体的には、学校教育外の子どもの学びについて取り上げる。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	座学に加えて随時グループワークをおこないますので、積極的な参加を期待しています。また、「地域学校協働と社会教育①・②・③」の講習は、連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：11	
開設講習名	小学校における国語科授業づくりの基礎・基本（その1）
開講日程	8月18日
担当講師	田中 俊弥
講習の概要	小学校の国語教科書所収の代表的な物語教材と説明文教材をとりあげ、その文章としての違い（物語は、虚構にもとづく「が」の文章、説明文は事実にもとづく「は」の文章）を踏まえ、午前中は物語を「読むこと」の授業づくりのための教材研究について講義するとともに、その授業づくりについて話し合う。また、午後は、午前と同様にその教材研究について講義するとともに、説明文を「読むこと」の授業づくりについて話し合う。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	プリントにて教材を配布します。
受講者の方へ	※小学校における国語科授業づくりの基礎・基本（その2）と連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：12	
開設講習名	小学校における国語科授業づくりの基礎・基本（その2）
開講日程	8月19日
担当講師	田中 俊弥
講習の概要	国語教科書所収の文学教材と説明文教材をとりあげ、高梨敬一郎（もとNHKアナウンサー）提唱の「自然なイントネーション」の考えにもとづく音読・朗読の方法論について講義する。また、その考えにもとづく音読・朗読を行い、その評価のあり方を実習する（午前）。また現行の小学校学習指導要領の「言語活動例」のうち、俳句にかかわる項目をとりあげ、とくに句会のワークショップをとおして、俳句の作り方や句会のあり方について実習する（午後）。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	プリントにて教材を配布します。
受講者の方へ	※小学校における国語科授業づくりの基礎・基本（その1）と連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：13	
開設講習名	ことばの力を育む国語科メディア・エデュケーション
開講日程	8月5日
担当講師	松岡 礼子
講習の概要	身近なメディアを用いた授業づくりへの実践的アプローチです。過去の実践例にもとづき、講義とグループワークを通して、ことばの力を育む国語教室づくりのアイデアを提供・検討・共有します。使用予定教材は、絵本、アニメーション映画、CM等です。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講義中に指示します。
受講者の方へ	—

講習番号（選択）：14	
開設講習名	文学の読みの系統的学習指導の開発
開講日程	9月4日
担当講師	住田 勝
講習の概要	文学教材の学習指導は、国語科学習指導の中でもとりわけ、系統的な学習指導をデザインすることが困難な領域である。この講習では、小学校／中学校の文学教材を取り上げながら、教材と教材のつながりを意識した具体的な教材研究の視点を共有することによって、実質的に「積み上がっていく」読みの力を錬成する文学の読みの学習指導の視野を開発することを目的とする。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材並びに資料については、当日配布する。
受講者の方へ	小学校と中学校のつながりを意識した教材研究を行うので、小学校教諭のかたは、中学校の教科書を、中学校の教諭の方は、小学校の教科書を事前に目を通しておいてください。

講習番号（選択）：15	
開設講習名	お困りではありませんか？国語科「説明的文章」でなにを学ぶの？
開講日程	8月10日
担当講師	井上 博文
講習の概要	国語学の最先端の知見を用いて、小学校、中学校の国語科学習指導を系統化するための実践的な国語科教材研究の取り組みの場を提供する。主に小学校中学校の国語教材のうち、説明文及び論説文を取り上げ、言語事項のうち、特に表現技法に焦点をあてながら、思考言語を育てる指導法について、ワークショップ形式で模索する。この過程において、表現技法が、表層的な言語的表現技法にとどまらず、思考ツールとしてはたらいっていることを知るとともに、いかに思考を刺激し思考をかたちづくっていくかを体験する。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講習時に配布します。
受講者の方へ	説明文教材の授業でどのような課題があるか、考えておいてください。

講習番号（選択）：16	
開設講習名	コミュニケーション能力育成のための授業づくり
開講日程	8月18日
担当講師	加賀田 哲也、橋本 健一、箱崎 雄子、山岡 賢三、柏木 賀津子
講習の概要	この講習では、コミュニケーション能力育成のための4技能、発音、語彙、文法、タスクベース、CLILの指導からいくつかを取り上げ、それぞれの指導理論と授業実践の両面から議論していきます。2学期からの授業のヒントを共有する機会を提供できればと思います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	指定教科書等はありません。
受講者の方へ	先生方の日々の授業実践における課題等を持ち寄っていただき、参加者全員で課題解決への糸口を探っていきたいと思います。 ※「コミュニケーション能力育成のための授業づくり」は全て、同じ内容の講習です。

講習番号（選択）：17	
開設講習名	コミュニケーション能力育成のための授業づくり
開講日程	8月19日
担当講師	加賀田 哲也、橋本 健一、箱崎 雄子、山岡 賢三、柏木 賀津子
講習の概要	この講習では、コミュニケーション能力育成のための4技能、発音、語彙、文法、タスクベース、CLILの指導からいくつかを取り上げ、それぞれの指導理論と授業実践の両面から議論していきます。2学期からの授業のヒントを共有する機会を提供できればと思います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	指定教科書等はありません。
受講者の方へ	先生方の日々の授業実践における課題等を持ち寄っていただき、参加者全員で課題解決への糸口を探っていきたいと思います。 ※「コミュニケーション能力育成のための授業づくり」は全て、同じ内容の講習です。

講習番号（選択）：18	
開設講習名	コミュニケーション能力育成のための授業づくり
開講日程	8月23日
担当講師	加賀田 哲也、橋本 健一、箱崎 雄子、山岡 賢三、柏木 賀津子
講習の概要	この講習では、コミュニケーション能力育成のための4技能、発音、語彙、文法、タスクベース、CLILの指導からいくつかを取り上げ、それぞれの指導理論と授業実践の両面から議論していきます。2学期からの授業のヒントを共有する機会を提供できればと思います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	指定教科書等はありません。
受講者の方へ	先生方の日々の授業実践における課題等を持ち寄っていただき、参加者全員で課題解決への糸口を探っていきたいと思います。 ※「コミュニケーション能力育成のための授業づくり」は全て、同じ内容の講習です。

講習番号（選択）：19	
開設講習名	授業を基礎から支える英語統語論（①）
開講日程	7月22日
担当講師	寺田 寛
講習の概要	講義内容は、英語教育学ではなく、英語の母語話者がどんな文法知識を持っていると現代の言語学で考えられているかをご紹介します。その内容は、2学期からすぐに先生方の英語の授業のお役に立つわけではありません（教授法でも授業研究でもなく、先生方に模擬授業をして頂く予定もありません）。英文法の面白さを知っていただく機会を提供したいと思います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教科書：田中智之編『統語論』朝倉出版。また、授業中に資料を配布します。
受講者の方へ	当講義のご受講前に、上記の教科書の1～2章をお読みおき下されば少しゆとりを持ってご受講いただけるはずですが、講習には筆記用具とノートと（電子）辞書などを各自でご持参下さい。認定試験には電子辞書ではなく紙媒体の辞書をご使用いただけます。 ※「授業を基礎から支える英語統語論」は3日間連続して受講していただくことを想定した講習内容ですので、3日間連続での受講をお願いしております。それゆえ、2日目だけの受講や3日目だけの受講はご遠慮ください。また、2日目を外された1日目と3日目だけの受講もご遠慮ください。ただし、1日目だけの受講や1日目と2日目だけの受講は可能です。

講習番号（選択）：20	
開設講習名	授業を基礎から支える英語統語論（②）
開講日程	7月23日
担当講師	寺田 寛
講習の概要	講義内容は、英語教育学ではなく、英語の母語話者がどんな文法知識を持っていると現代の言語学で考えられているかをご紹介します。その内容は、3学期からすぐに先生方の英語の授業のお役に立つわけではありません（教授法でも授業研究でもなく、先生方に模擬授業をして頂く予定もありません）。英文法の面白さを知っていただく機会を提供したいと思います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教科書：田中智之編『統語論』朝倉出版。また、授業中に資料を配布します。
受講者の方へ	当講義のご受講前に、上記の教科書の1～3章をお読みおき下されば少しゆとりを持ってご受講いただけるはずですが、講習には筆記用具とノートと（電子）辞書などを各自でご持参下さい。認定試験には電子辞書ではなく紙媒体の辞書をご使用いただけます。 ※「授業を基礎から支える英語統語論」は3日間連続して受講していただくことを想定した講習内容ですので、3日間連続での受講をお願いしております。それゆえ、2日目だけの受講や3日目だけの受講はご遠慮ください。また、2日目を外された1日目と3日目だけの受講もご遠慮ください。ただし、1日目だけの受講や1日目と2日目だけの受講は可能です。

講習番号（選択）：21	
開設講習名	授業を基礎から支える英語統語論（③）
開講日程	7月25日
担当講師	寺田 寛
講習の概要	講義内容は、英語教育学ではなく、英語の母語話者がどんな文法知識を持っていると現代の言語学で考えられているかをご紹介します。その内容は、4学期からすぐに先生方の英語の授業のお役に立つわけではありません（教授法でも授業研究でもなく、先生方に模擬授業をして頂く予定もありません）。英文法の面白さを知っていただく機会を提供したいと思います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教科書：田中智之編『統語論』朝倉出版。また、授業中に資料を配布します。
受講者の方へ	当講義のご受講前に、上記の教科書の1～4章をお読みおき下されば少しゆとりを持ってご受講いただけるはずです。講習には筆記用具とノートと（電子）辞書などを各自でご持参下さい。認定試験には電子辞書ではなく紙媒体の辞書をご使用いただけます。 ※「授業を基礎から支える英語統語論」は3日間連続して受講していただくことを想定した講習内容ですので、3日間連続での受講をお願いしております。それゆえ、2日目だけの受講や3日目だけの受講はご遠慮ください。また、2日目を外された1日目と3日目だけの受講もご遠慮ください。ただし、1日目だけの受講や1日目と2日目だけの受講は可能です。

講習番号（選択）：22	
開設講習名	社会科地理教材の開発
開講日程	9月11日
担当講師	水野 恵司
講習の概要	小・中学校社会科における地域学習や地理的分野について、授業展開や教材開発に必要な知識・技能を、講義と実習を通じて講習します。内容は身近な地域調査を行う上で便利な「地理院地図」の活用方法、防災の観点から地域の特徴を見る現地調査からなります。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	資料は当日配布
受講者の方へ	現地調査場所への移動運賃数百円必要

講習番号（選択）：23	
開設講習名	いのちの教育の理論と実践
開講日程	7月22日
担当講師	岩田 文昭
講習の概要	いのちの教育の理論を紹介し、その実践の仕方を実際の教材をもとに考察する。具体的には、国語・社会・道徳などの教科書を取り上げ、いのちが学校でどのように扱われているかを解明しつつ、いのちの教育の可能性や意義を説明する。講義では受講生が能動的に参加ができるような工夫をしたい。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料などは、当日に配布
受講者の方へ	※「いのちの教育の理論と実践」はどちらも、同じ内容の講習です。

講習番号（選択）：24	
開設講習名	いのちの教育の理論と実践
開講日程	7月23日
担当講師	岩田 文昭
講習の概要	いのちの教育の理論を紹介し、その実践の仕方を実際の教材をもとに考察する。具体的には、国語・社会・道徳などの教科書を取り上げ、いのちが学校でどのように扱われているかを解明しつつ、いのちの教育の可能性や意義を説明する。講義では受講生が能動的に参加ができるような工夫をしたい。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料などは、当日に配布
受講者の方へ	※「いのちの教育の理論と実践」はどちらも、同じ内容の講習です。

講習番号（選択）：25	
開設講習名	中高社会科歴史学習の内容と方法に関する理論と実践
開講日程	7月25日
担当講師	櫻澤 誠
講習の概要	中学校社会科・高等学校地理歴史科における歴史学習に関して、新たな歴史研究の動向や歴史認識・解釈などについて解説するとともに、教材研究の方法などについて講義・実習を行う。具体的には、①歴史学習に関わる領域について、社会科授業の基礎的・基本的な知識・理論の理解を深める。②歴史研究の新たな研究状況を解説し、歴史を認識するとはいかなることか、また、歴史を解釈するとはいかなることかについて理解を深める。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	—

講習番号（選択）：26	
開設講習名	地図活用入門
開講日程	8月6日
担当講師	山近 博義
講習の概要	身近な地域の人口や経済活動などを知ることができる資料として、基本的な統計を取り上げ、その概要を解説します。そのうえで、統計の活用した主題図作成などの実習を行います。また、身近な地域の景観やその変遷を知ることができる資料として、地形図や空中写真などを取り上げ、それらの読み取りなどの実習を行います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や参考資料等は、当日、配布します。
受講者の方へ	色鉛筆あるいはペンをご持参ください。

講習番号（選択）：27	
開設講習名	ワークショップで学ぶ社会参加と社会形成を目指す社会科教育のための基礎理論
開講日程	9月11日
担当講師	手取 義宏
講習の概要	これからの未来を担う子どもたちが自他の幸福を願い、積極的に社会と関わり、自分のいる場所でよりよい社会をつくることのできる力を身に付けるために、社会科（地歴科・公民科）の授業は今後どうあるべきなのか。さまざまな理論についてワークショップ形式で学びつつ、自分自身の教師観・授業観・学習観の見直しの機会を共に作ります。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	持ち物・準備すべきことなどは、必要に応じてお知らせします。
受講者の方へ	持ち物・準備すべきことなどは、必要に応じてお知らせします。

講習番号（選択）：28	
開設講習名	日本・中国の言語と文化（漢文関係）
開講日程	8月5日
担当講師	佐藤 一好、中野 知洋
講習の概要	漢文（日本漢文を含む）や中国近代文学に関して、講師がそれぞれの専門的観点から講義を行います。そのなかで高等学校「国語」の学習指導に関わる新たな知見の獲得を目指すことを最大の目標とします。また、言葉に対する認識を深め、生徒が生涯にわたって言語文化の担い手となり、言葉を通して他者や社会に関わるための国語力の強化について考えるきっかけにしたいとも考えています。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	※「日本・中国の言語と文化（漢文関係）」/「日本・中国の言語と文化（日本語・日本語表現）」/「日本・中国の言語と文化（日本文学）」の講習は連続して受講する事が望ましい。

講習番号（選択）：29	
開設講習名	日本・中国の言語と文化（日本語・日本語表現）
開講日程	8月10日
担当講師	石橋 紀俊、櫛引 祐希子
講習の概要	日本語および日本語表現に関して、講師がそれぞれの専門的観点から講義を行います。そのなかで高等学校「国語」の学習指導に関わる新たな知見の獲得を目指すことを最大の目標とします。また、言葉に対する認識を深め、生徒が生涯にわたって言語文化の担い手となり、言葉を通して他者や社会に関わるための国語力の強化について考えるきっかけにしたいとも考えています。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	※「日本・中国の言語と文化（漢文関係）」/「日本・中国の言語と文化（日本語・日本語表現）」/「日本・中国の言語と文化（日本文学）」の講習は連続して受講する事が望ましい。

講習番号（選択）：30	
開設講習名	日本・中国の言語と文化（日本文学）
開講日程	8月6日
担当講師	小野 恭靖、石橋 紀俊
講習の概要	日本古典文学および日本近代文学に関して、講師がそれぞれの専門的観点から講義を行います。そのなかで高等学校「国語」の学習指導に関わる新たな知見の獲得を目指すことを最大の目標とします。また、言葉に対する認識を深め、生徒が生涯にわたって言語文化の担い手となり、言葉を通して他者や社会に関わるための国語力の強化について考えるきっかけにしたいとも考えています。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	※「日本・中国の言語と文化（漢文関係）」/「日本・中国の言語と文化（日本語・日本語表現）」/「日本・中国の言語と文化（日本文学）」の講習は連続して受講する事が望ましい。

講習番号（選択）：31	
開設講習名	養護教育－環境への適応とアレルギー・アナフィラキシー
開講日程	8月5日
担当講師	永井 由美子、松本 鉄也
講習の概要	講義1：環境へのヒトの生理的適応や遺伝的適応について考える。さらに暑熱並びに寒冷曝露に対する体温調節、血圧及び心拍変動など生理的反応が及ぼす影響として、例えば熱中症や偶発性低体温症など健康障害についても学ぶ。講義2：健康を維持増進するための大切な生活習慣やセルフメディケーションについて学ぶ。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	－

講習番号（選択）：32	
開設講習名	養護教諭－フィジカルアセスメントと小中高生の健康課題
開講日程	8月19日
担当講師	橋弥 あかね、榎木 泰介
講習の概要	講義1：学校現場における救急処置活動に必要な基礎知識、アセスメント、処置・対応などについて解説し、事例についてグループワークを行う。講義2：現代生活の実状と健康問題について、心身における発育と発達を中心に解説する。また、身体の成長や怪我、学校教育における運動器検診について講義する。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	－

講習番号（選択）：33	
開設講習名	養護教諭—子どもの健康課題
開講日程	8月23日
担当講師	平田 久美子、出水 典子
講習の概要	講義1：養護教諭に必要な医学知識について、スライド・動画などを用いて解説を行います。講義2：養護教諭が行う健康相談活動をより一層円滑に進めるための留意点について述べる。模擬事例について、グループでの事例検討を実施する。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	—

講習番号（選択）：34	
開設講習名	調理実験から調理への関心を高める
開講日程	8月4日
担当講師	井奥 加奈
講習の概要	調理は生活に身近なサイエンスです。理科や社会の応用になっている事象も多いので、水にまつわる科学を中心に、家庭科を新たな視点でみなおしてみたいと思います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	当日配布
受講者の方へ	コロナの対応を行いながら、数名ずつのグループ活動を予定しています。保育の活動がしやすい、服装等での出席をお願いいたします。

講習番号（選択）：35	
開設講習名	家庭科の保育・家族を考える
開講日程	8月5日
担当講師	小崎 恭弘
講習の概要	・ 家族領域 近年の家族の変化や現状を捉え、それらの社会における生徒・学生のライフデザインの有り様について、講義や演習を通じて考える。 ・ 保育領域 乳幼児の遊びの意味や意義を捉え具体的、実践的な保育の活動の実体験を通じ、子どもの理解を深める。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	当日配布
受講者の方へ	コロナの対応を行いながら、数名ずつのグループ活動を予定しています。保育の活動がしやすい、服装等での出席をお願いいたします。

講習番号（選択）：36	
開設講習名	砂糖とデンプンの話
開講日程	8月6日
担当講師	中田 忍
講習の概要	家庭科などで実施可能な実験・実習のうち、食物の分野を中心に紹介します。前半は砂糖その他、食品に使用される糖質について解説を行った後、糖度計を用いて食品の糖度の測定を行い、結果について討論します。後半は加熱によるでんぷんの糊化や酵素分解について解説ののちに また、デンプンを酵素分解しヨウ素反応の色の変化を観察します。さらに食品中のでんぷんの存在をこの反応で確認する予定です。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	当日に資料を配布します。
受講者の方へ	汚れても大丈夫な服装でおいでください。アナフィラキシーショックを伴う食物アレルギーをお持ちの方はアレルギーとともにあらかじめお知らせください。

講習番号（選択）：37	
開設講習名	苦手克服！超初心者向け今更聞けない「小学校被服製作実習」の基礎
開講日程	8月10日
担当講師	山田 由佳子
講習の概要	小学校家庭科における被服製作実習の基礎として、手縫いとミシンを取り上げて講習を行います。糸の針への通し方に始まり、玉結びや玉どめ、並縫い等の基礎縫い、ボタン付け、ミシンを使った作品の製作など、実際に実習を行いながら、注意点を確認していきます。つまづきやすいポイントやミシントラブル対応等についても解説します。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材、参考資料等は当日に配布します。
受講者の方へ	裁縫道具は全てこちらで用意します。各自で実習作業説明用動画を撮影していただく場合があります。スマートフォン、又はビデオ等が撮れるカメラをご持参ください。

講習番号（選択）：38	
開設講習名	消費者教育をデザインしよう（1）
開講日程	7月22日
担当講師	鈴木 真由子
講習の概要	学校教育現場には、18歳成人に向けて若年消費者教育の充実が求められている。理論を押しさえ、出前講座等の体験をふまえ、グループワークで授業をデザインする。国民生活センターと連携して実施することも考えている。7/23の（2）と2日間の連続受講を前提とすることが望ましい。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	当日配布
受講者の方へ	消費者教育に関する授業を行った際の資料を持参すること

講習番号（選択）：39	
開設講習名	消費者教育をデザインしよう（2）
開講日程	7月23日
担当講師	大本 久美子
講習の概要	学校教育現場には、18歳成人に向けて若年消費者教育の充実が求められている。理論を押しさえ、出前講座等の体験をふまえ、グループワークで授業をデザインする。国民生活センターやなどと連携して実施することも考えている。7/22実施の（1）を受講してから（2）を受講することが望ましい。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	当日配布
受講者の方へ	これまで行った消費者教育の授業に関する資料などを持参してください。

講習番号（選択）：40	
開設講習名	食生活の中の健康と安全について考える－食品中のカフェインとポリフェノール
開講日程	8月4日
担当講師	西川 章江
講習の概要	カフェインとポリフェノールは、緑茶、紅茶、コーヒーなど嗜好飲料に含まれています。最近では、カフェインを含むエナジードリンクが若者の間でよく飲まれています。本講習の前半では、茶葉などからカフェインを取り出す実習をおして、身近な食品に含まれるカフェインについて知り、健康被害を予防するために注意すべきことなどを考え、後半では、ポリフェノールの抗酸化性の実習を通して、食品の機能性について学び、それぞれ教材としての可能性を検討します。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	手拭きタオルをご持参ください。 「食の安全・住まい安全をテーマにした実習」と合わせた受講を推奨します。 ※「食生活の中の健康と安全について考える－食品中のカフェインとポリフェノール」/「食の安全・住まい安全をテーマにした実習」/「住まいと暮らしの文化の体験学習」については、連続して受講することが望ましいです。（特に40と41、又は41と42）

講習番号（選択）：41	
開設講習名	食の安全・住まい安全をテーマにした実習
開講日程	8月5日
担当講師	西川 章江、碓田 智子
講習の概要	(1)食の安全性について考える授業づくりー食中毒予防と教材化ー 食の安全性を脅かす問題で特に「食中毒」について取り上げ、食中毒の特徴と予防について解説します。簡単な食品衛生の実習を通して、食中毒予防を意識させる教材としての可能性を検討します。 (2)住領域の教材体験～安全な住まいを中心に～ 安全な住まいについて学ぶプログラムの体験や住まいの耐震性について学ぶペーパークラフト教材の制作実習を行い、学校の授業での活用の視点から比較・評価してもらいます。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	「食生活の中の健康と安全について考える」および「住まいと暮らしの文化の体験学習」と合わせての受講を推奨します。 ※「食生活の中の健康と安全について考えるー食品中のカフェインとポリフェノール」/「食の安全・住まい安全をテーマにした実習」/「住まいと暮らしの文化の体験学習」については、連続して受講することが望ましいです。（特に40と41、又は41と42）

講習番号（選択）：42	
開設講習名	住まいと暮らしの文化の体験学習
開講日程	8月6日
担当講師	碓田 智子
講習の概要	住まいと暮らしの博物館である「大阪くらしの今昔館」で実習を行います。日本の伝統的な住まいと暮らしについての解説のあと、①展示室内で江戸時代の町並みの観察と町家の間取り作成実習を行います。②町家の建物と生活の知恵と工夫についての見学解説を行います。③ワークショップで意見交換を行ない、伝統的な住まいと暮らしの知恵と工夫、今日の住生活とのつながりについて検討します。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	「大阪くらしの今昔館」のホームページ『学びプログラム』に掲載の学習動画「大阪くらしの今昔館 町家のくらしとおもてなし」「夏の住まいとくらし」ほかをご覧ください。教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	◆「大阪くらしの今昔館」の入館料（600円）は自己負担になります（個別の領収書発行は対応できません）。◆画版かそれに代わるもの、デジカメをご用意ください。◆新型コロナウイルスの感染防止のため「大阪くらしの今昔館」の展示室の利用が制限されることに伴い、講習内容を変更する場合があります。◆「食の安全・住まい安全をテーマにした実習」と合わせた受講を推奨します。 ※「食生活の中の健康と安全について考えるー食品中のカフェインとポリフェノール」/「食の安全・住まい安全をテーマにした実習」/「住まいと暮らしの文化の体験学習」については、連続して受講することが望ましいです。（特に40と41、又は41と42） また、新型コロナウイルス感染拡大により大阪くらしの今昔館が閉館または感染防止により利用制限がある場合、人数を減らして講習内容を変更して実施する可能性がございます。また、他の施設にて近似の内容を実施する可能性もございます。

講習番号（選択）：43	
開設講習名	小学校における授業づくりのための基礎・基本（理科分野その1）
開講日程	7月23日
担当講師	廣木 義久、種村 雅子
講習の概要	小学校理科関連の授業づくりに関する講習である。物理学分野、地学分野の2つの分野について講習を行う。物理学分野では、ふりこや電磁石等のテーマを扱い、児童にも簡単に作れる実験装置を製作してもらう予定。地学分野では、理科で使用される用語と日常使用される用語の違いを理解することの重要性について議論する。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	プリントを配布します。
受講者の方へ	持ち物・準備すべきことなどは、必要に応じてお知らせします。 本講座は「小学校における授業づくりのための基礎・基本（理科分野その2）」と同日開講とし、担当者に不測の事態が生じた際にお互いに担当を補うようにします。そのため、担当講師が欠席した場合につきましては分野が変わる事があります。 ※同日開催のため、「小学校における授業づくりのための基礎・基本（理科分野その2）」との両方を受講することはできません。

講習番号（選択）：44	
開設講習名	小学校における授業づくりのための基礎・基本（理科分野その2）
開講日程	7月23日
担当講師	出野 卓也、垣本 徹
講習の概要	小学校理科関連の授業づくりに関する講習である。生物学分野、科学教育分野の2つの分野について講習を行う。生物学分野では、プランクトンを材料に顕微鏡の使い方や顕微鏡写真の撮り方等を実習する。科学教育分野では、プログラミング教育の講義と実習を行う。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	プリントを配布します。
受講者の方へ	持ち物・準備すべきことなどは、必要に応じてお知らせします。 本講座は「小学校における授業づくりのための基礎・基本（理科分野その1）」と同日開講とし、担当者に不測の事態が生じた際にお互いに担当を補うようにします。そのため、担当講師が欠席した場合につきましては分野が変わる事があります。 ※同日開催のため、「小学校における授業づくりのための基礎・基本（理科分野その1）」との両方を受講することはできません。

講習番号（選択）：45	
開設講習名	暗号と実数
開講日程	7月22日
担当講師	馬場 良始、田中 秀典
講習の概要	<p>午前：その活躍を多くの人は気付いていないが、暗号は現代社会の基盤を支える最も重要な技術の1つであると断言できる。そして、そこには代数学が使われている。この講習では、暗号の歴史をふり返ってから、初等整数論の知識で理解できるRSA暗号について学ぶ。</p> <p>午後：小学校で分数（有理数）、中学校で無理数（実数）を学習しますが、高等学校の微分積分では実数の収束の考えが必要です。数学の発展について言及し、数学的な見方、数学的思考について講義したいと思います。</p>
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材は当日配布します。
受講者の方へ	暗号の講習で使用しますので、電卓（12桁表示の簡単なもので可。スマホのアプリでも可。）を持参してください。

講習番号（選択）：46	
開設講習名	確率論の基礎と応用・結び目理論の教材化（中・高等学校数学教員のために）
開講日程	7月23日
担当講師	貞末 岳、岩瀬 謙一
講習の概要	<p>中・高等学校数学教員向けに以下の講義を行う。</p> <p>1. 数え上げ・期待値等の確率論の基礎を復習し、応用事例をいくつか取り上げる。確率論の応用を知り、基礎理論の理解を深めることを目標とする。</p> <p>2. 結び目の数学の分野には、中学校や高校の現場でも教材化できそうで、教育的にも意義のありそうな内容が多く見られる。その中から、今までに中学や高校で実践してきた内容とその実践の概要を紹介する。</p>
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材は、当日に配付します。
受講者の方へ	—

講習番号（選択）：47	
開設講習名	数学の授業づくり
開講日程	7月23日
担当講師	岡安 類、上原 昭三
講習の概要	講習1：ひとつのトピックに絞り、小学校から大学までの算数・数学の流れを俯瞰的に見直すことを試みたい。生徒が学ぶ数学が今までに学んだきたものとどのように関係するのか。また学んだ後にどのように展開していくのか。このような視点を持ち、授業を行うことは大切だと考える。講習は小学校算数から始め、最後は大学数学まで繋げていければと考えている。 講習2：中学校現場で実践された教材や授業を紹介するとともに、生徒の意欲を喚起する授業づくりについて、グループワークを交えながら検討していく。また、参加者それぞれの経験や実践を交流し、相互に良い刺激と情報を得る機会になればと考えている。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	当日資料配布
受講者の方へ	特になし

講習番号（選択）：48	
開設講習名	Scratchで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業
開講日程	8月6日
担当講師	上出 吉則
講習の概要	スクラッチで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業について、以下の流れで講義と実習を行う。 1. スクラッチを用いた算数を楽しむ教材を体験し、その特性を理解する。 2. スクラッチ教材を使ったアクティブラーニングの展開方法を考える。 3. スクラッチ教材を使った思考力・判断力・表現力等の育成を考える。 4. スクラッチ教材を使った数学的活動の方法を検討する。 5. 算数学習指導案を作成し、実際の授業で活用法についての議論を深める。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材は、当日に配付します。 参考資料は小学校学習指導要領解説算数編
受講者の方へ	持ち物は、職場で使っている名札、コンパス、定規、筆記用具、ルーズリーフなどのノートを持参してください。 ※「Scratchで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業」は全て、同じ内容の講習です。

講習番号（選択）：49	
開設講習名	Scratchで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業
開講日程	8月10日
担当講師	上出 吉則
講習の概要	<p>スクラッチで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業について、以下の流れで講義と実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スクラッチを用いた算数を楽しむ教材を体験し、その特性を理解する。 2. スクラッチ教材を使ったアクティブラーニングの展開方法を考える。 3. スクラッチ教材を使った思考力・判断力・表現力等の育成を考える。 4. スクラッチ教材を使った数学的活動の方法を検討する。 6. 算数学習指導案を作成し、実際の授業で活用法についての議論を深める。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	<p>教材は、当日に配付します。</p> <p>参考資料は小学校学習指導要領解説算数編</p>
受講者の方へ	<p>持ち物は、職場で使っている名札、コンパス、定規、筆記用具、ルーズリーフなどのノートを持参してください。</p> <p>※「Scratchで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業」は全て、同じ内容の講習です。</p>

講習番号（選択）：50	
開設講習名	Scratchで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業
開講日程	8月12日
担当講師	上出 吉則
講習の概要	<p>スクラッチで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業について、以下の流れで講義と実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スクラッチを用いた算数を楽しむ教材を体験し、その特性を理解する。 2. スクラッチ教材を使ったアクティブラーニングの展開方法を考える。 3. スクラッチ教材を使った思考力・判断力・表現力等の育成を考える。 4. スクラッチ教材を使った数学的活動の方法を検討する。 7. 算数学習指導案を作成し、実際の授業で活用法についての議論を深める。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	<p>教材は、当日に配付します。</p> <p>参考資料は小学校学習指導要領解説算数編</p>
受講者の方へ	<p>持ち物は、職場で使っている名札、コンパス、定規、筆記用具、ルーズリーフなどのノートを持参してください。</p> <p>※「Scratchで作成された創作教材を用いたICT活用算数授業」は全て、同じ内容の講習です。</p>

講習番号（選択）：51	
開設講習名	中学校教員を対象としたものづくり（材料と加工の技術）に関する講習
開講日程	8月18日
担当講師	永富 一之、成田 一人
講習の概要	技術分野内容「A材料と加工の技術」に関する講習を行う。前半は、「木材利用と環境保全」と題し、循環型社会形成に向けた木材の有効利用のあり方と、簡単な木製品の製作を行い、木材加工技能の向上を図る。後半は、「進化を続ける鑄造技術」と題し、溶けた金属からのモノづくりについて、特に砂型鑄造法を取り上げる。なお、講習内容の理解を深めるに、講習の中で金属の特徴、種類、組織、機械的性質とその評価方法などについても概説する。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	実習等が可能な服装を準備してください。

講習番号（選択）：52	
開設講習名	楽しいマイコンボードと技術教育～中学校教員を対象としたものづくり（情報の技術と教育法）に関する講習～
開講日程	8月19日
担当講師	光永 法明、吉岡 利浩
講習の概要	技術分野内容「D情報の技術」に関する講習を行う。前半は、「楽しいマイコンボード」と題し、マイコンボード micro:bit（貸出）を使って作品作りに取り組むと共に、参加者と教材や教育について議論する。後半は、技術科教育における協同・協働学習に着目し、創造性の育成、課題解決力を習得させる指導法について体験を通して理解を深め、これからの技術科教育に求められる授業を創造する能力の育成を図る。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	USB type A のポートのあるノートパソコン(無線LANあり)を持参して下さい。Type C のみのパソコンの場合は Type A → Type C の変換ケーブルもしくは、Type C, micro B のケーブルを持参して下さい。

講習番号（選択）：53	
開設講習名	中学校教員を対象としたものづくり（エネルギー変換等）に関する講習
開講日程	8月4日
担当講師	篠澤 一彦、橋場 隆
講習の概要	技術分野内容「Cエネルギー変換」と「D情報の技術」に関する講習を行う。前半は、「エネルギーの変換・移動からみるエネルギー・環境」と題し、エネルギーの概念から、エネルギーの形態や変換・移動から、エネルギー変換・移動の具体例について概説を行う。後半は、「情報技術と融合するロボット技術」と題して、情報通信技術と融合するロボット技術について、いくつかの事例をベースに紹介を行い、パターン認識や機械学習などに基づく推定技術の理解を深める。さらには、情報ロボット技術の高度化について、いくつかの例題を通して考える。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	特にありません。

講習番号（選択）：54	
開設講習名	どこでもできる森林ESD ～地域と連携した教科での展開～(1日目)
開講日程	8月4日
担当講師	永富 一之
講習の概要	森林ESDとは、持続可能な社会づくりに向け、問題解決に必要な能力・態度を身につけさせるための森林や身近な自然環境を活用した学習活動です。本講座（1日目）では、森林ESD実践の教育的意義や学習指導要領での取扱いについて講義します。さらに、生物の暮らしと森林環境をテーマに大学構内の自然を活用したフィールドワークを行います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	<p>※本講習は、3日間連続して受講することが望ましい内容構成となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会場は、1日目と3日目が柏原キャンパス、2日目が、河内長野市立林業総合センター（河内長野市高向1818-1）になります。 ・第2日目は、三田市町駅（南海高野線）から送迎バスがあります。 ・第2日目は、昼食持参のこと。 ・全日程にわたって実習等が可能な服装を準備のこと。

講習番号（選択）：55	
開設講習名	どこでもできる森林ESD ～地域と連携した教科での展開～(2日目)
開講日程	8月5日
担当講師	永富 一之、青木 宏子
講習の概要	森林ESDとは、持続可能な社会づくりに向け、問題解決に必要な能力・態度を身につけさせるための森林や身近な自然環境を活用した学習活動です。本講座（2日目）では、河内長野市立林業総合センター（木根館）を講習会場にして、森づくりや木づかいなどの実践的・体験的活動を通して森林ESDを学びます。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	<p>※本講習は、3日間連続して受講することが望ましい内容構成となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会場は、1日目と3日目が柏原キャンパス、2日目が、河内長野市立林業総合センター（河内長野市高向1818-1）になります。 ・第2日目は、三日月町駅（南海高野線）から送迎バスがあります。 ・第2日目は、昼食持参のこと。 ・全日程にわたって実習等が可能な服装を準備のこと。

講習番号（選択）：56	
開設講習名	どこでもできる森林ESD ～地域と連携した教科での展開～(3日目)
開講日程	8月6日
担当講師	永富 一之
講習の概要	森林ESDとは、持続可能な社会づくりに向け、問題解決に必要な能力・態度を身につけさせるための森林や身近な自然環境を活用した学習活動です。本講座（3日目）では、幼児教育からのつながり、小学校の社会科、理科、図画工作科の実践例をもとに、森林ESDと関わりの深い単元や題材について地域の物的、人的支援を活用し、学校の実態に応じた指導計画を考えます。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配布します。
受講者の方へ	<p>※本講習は、3日間連続して受講することが望ましい内容構成となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会場は、1日目と3日目が柏原キャンパス、2日目が、河内長野市立林業総合センター（河内長野市高向1818-1）になります。 ・第2日目は、三日月町駅（南海高野線）から送迎バスがあります。 ・第2日目は、昼食持参のこと。 ・全日程にわたって実習等が可能な服装を準備のこと。

講習番号（選択）：57	
開設講習名	観察・実験などを通して深める理科の探究_小学校A[エネルギーと粒子]
開講日程	8月18日
担当講師	深澤 優子、種田 将嗣
講習の概要	理科の実験室で数名ずつのグループを作り、理科の「エネルギー・粒子」の内容における実験の勘所やノウハウ、楽しく役立つ教材の利用法などを紹介し、実際にグループ実験していただきます。前半は小学校第3学年の光と音の性質、第6学年の電気の利用の内容に関する実験を扱います。後半は小学校第6学年で取り扱うものの燃え方、水溶液の性質に関する実験を扱います。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	テキストはありません。資料や必要な教材等は当日に配付します。
受講者の方へ	実験を行いますので、汚れてもかまわない服装でお願いします。

講習番号（選択）：58	
開設講習名	観察・実験などを通して深める理科の探究_小学校B[生命と地球]
開講日程	8月19日
担当講師	生田 享介、吉本 直弘
講習の概要	理科の実験室で数名ずつのグループを作り、小学校理科の「生命・地球」の内容における観察・実験の勘所やノウハウ、楽しく役立つ教材の利用法などを紹介し、実際にグループ実験していただきます。「生命」領域は第3学年のこん虫のつくりと育ち、第5学年の顕微鏡の使い方に関する内容を扱います。「地球」領域は第5学年「天気の変化」における雲と天気の変化の観察を扱います。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	テキストはありません。資料や必要な教材等は当日に配付します。
受講者の方へ	実験を行いますので、汚れてもかまわない服装でお願いします。

講習番号（選択）：59	
開設講習名	小学校理科における探究型学習の指導
開講日程	7月22日
担当講師	安積 典子、石川 聡子
講習の概要	現行の学習指導要領の柱である探究型学習の指導方法について取り上げる。午前は新しい内容「人と環境」、午後は小学校理科の実験を用いた課題解決の体験に焦点を当てる。これらの基本的事項について解説するとともに、受講者同士でグループワークをおこなうことで、日常の理科指導に役立つ指導方法について実践的に学ぶ。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	小学校学習指導要領解説理科編、普段お使いの小学校理科第6学年の教科書
受講者の方へ	特になし

講習番号（選択）：60	
開設講習名	観察・実験などを通して深める理科の探究_中学校[物理]
開講日程	8月23日
担当講師	向井 大喜、串田 一雅、鈴木 康文
講習の概要	主に中学校理科教員にむけて「エネルギーと粒子」分野の指導を振り返り、探究を深める授業を作るための機会としたい。3人の講師が2時間ずつ講習を行う。初めに理科教育を研究する観点から「エネルギーと粒子」分野において必要となる科学的な考え方（探究の過程）にかかわる活動を行い、振り返る。続いて実験を交え、電気に関わる単元を通じてエネルギー変換について考える活動を行う。最後に、エネルギー分野の高等学校で教える内容に対する小・中での学びのつながりを実験を交えて講習し、探究を深める授業につながる議論を行う。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	テキストはありません。資料や必要な教材等は当日に配布します。
受講者の方へ	—

講習番号（選択）：61	
開設講習名	観察・実験などを通して深める理科の探究_中学校[化学・生物]
開講日程	8月6日
担当講師	安積 典子、岡崎 純子
講習の概要	主に中学校理科教員にむけて「化学」「生物」分野の観察実験探究を深める授業を作るための機会とします。化学分野では目で見ることができないため指導が難しいとされているイオンについて、生徒の興味を喚起し、授業で活用しやすい実験を紹介し、生物分野では植物の形態や分類について講義、関連した観察実験を行います。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	資料等は当日配布します。
受講者の方へ	汚れてもかまわない服装または白衣を持参してください。

講習番号（選択）：62	
開設講習名	生物観察入門
開講日程	8月5日
担当講師	乾 陽子、鶴澤 武俊
講習の概要	主に理科の第2分野（生命）において、実際に野外で生物観察を行う場合に注意すべき点、野外観察に関連した実験の方法などを2つのテーマについて紹介します。本講習では、野外実習、屋内での実験と講義を行う予定です。野外実習は、講習会場の周辺で行い、屋内の実験と講義は、実験室または普通教室で行う予定です。野外実習は、天候により変更される場合もあります。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	必要な教材等は講習時に配布いたします。
受講者の方へ	実験や野外観察を行ないますので、動きやすく、汚れてもかまわない服装で受講して下さい。その他講習の詳細や関連資料等は、募集要項で確認して下さい。

講習番号（選択）：63	
開設講習名	現代科学・技術につながる高等学校理科（SI単位と放射性核種）
開講日程	8月19日
担当講師	久保埜 公二、堀 真子
講習の概要	<p>午前は講義として、高等学校理科で学習する単位であるキログラム、ケルビン、アンペア、モルの、2019年に施行となった新定義の内容と旧定義から改定へと至った経緯について、現代社会との関連も含めて説明する。それとともに、今回の定義改定を支えた最先端の計測技術について解説し、高等学校理科の学習内容が、現代科学・技術に密接に繋がっていることを理解してもらう。</p> <p>午後は、高校地学をベースに、放射性核種の利用と処分に関する現代的テーマを解説する。特に、原子力発電に利用されているウランを対象に、地理的分布や産状、壊変の時間スケールなどを、地球科学的背景に基づいて紹介する。</p>
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	テキスト配布
受講者の方へ	特になし

講習番号（選択）：64	
開設講習名	地学観察入門
開講日程	8月4日
担当講師	小西 啓之、松本 桂
講習の概要	<p>主に理科の第2分野（地球）において、実際に野外で地学観察を行う場合に注意すべき点、野外観察に関連した実験の方法などを2つのテーマについて紹介します。本講習では、野外実習、屋内での実験と講義を行う予定です。野外実習は、講習会場の周辺で行い、屋内の実験と講義は、実験室または普通教室で行う予定です。野外実習は、天候により変更される場合もあります。</p>
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	必要な教材等は講習時に配布いたします。
受講者の方へ	実験や野外観察を行ないますので、動きやすく、汚れてもかまわない服装で受講して下さい。その他講習の詳細や関連資料等は、本学HPで確認して下さい。

講習番号（選択）：65	
開設講習名	現代科学・技術につながる高等学校理科（化学から見たハイテク材料）
開講日程	8月18日
担当講師	堀 一繁、谷 敬太
講習の概要	<p>午前は講義として、高校化学の指導内容「光学活性化合物」や「芳香族化合物」が、現代社会を支えるハイテク素材に使われていることについて解説し、高校化学の学習内容が、現代科学・技術に密接に繋がっていることを理解してもらう。</p> <p>午後は、午前の講義に関連して酸塩基指示薬（フェノールフタレイン）や蛍光色素（フルオレセイン）の合成を高校の理科室にある器具で行う。実験器具の取り扱いや操作方法の確認、ならびに実験の注意事項も説明する。合成した色素をベースにして光を利用した機能性材料（有機ELや有機太陽電池）などの説明も行う。</p>
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	テキスト配布
受講者の方へ	可能であれば、白衣・保護メガネ・タオルを持参のこと

講習番号（選択）：66	
開設講習名	数理・情報の世界1
開講日程	8月10日
担当講師	町頭 義朗、藤井 淳一、藤田 修、望月 久稔、芦野 隆一、守本 晃、森岡 達史、平木 彰、湯浅 久利
講習の概要	<p>数学は数千年の歴史を持ち、学校教育の中で扱われるのはその一部分に過ぎません。通常のカリキュラムでは、積み上げ型の教科の特性として、基礎的な部分を中心に、最先端の話題に触れる余裕がありません。また、コンピュータの発達に伴い、数学においても実験的な要素を取り込むことが可能となってきました。この講座では、高等学校で教えられる数学の背景と発展などをグループワークを通じて学ぶとともに、コンピュータ実習を行います。</p>
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	テキストはありません。資料や必要な教材等は当日に配付します。
受講者の方へ	<p>USBメモリーを持参していただければ実習結果を持ち帰れます。</p> <p>「数理・情報の世界1・2・3」については、連続して受講する事が望ましいです。</p>

講習番号（選択）：67	
開設講習名	数理・情報の世界2
開講日程	8月11日
担当講師	町頭 義朗、藤井 淳一、藤田 修、望月 久稔、芦野 隆一、守本 晃、森岡 達史、平木 彰、湯浅 久利
講習の概要	数学は数千年の歴史を持ち、学校教育の中で扱われるのはその一部分に過ぎません。通常のカリキュラムでは、積み上げ型の教科の特性として、基礎的な部分を中心に、最先端の話題に触れる余裕がありません。この講座では、高等学校で教えられる数学の背景と発展などを解析学・代数学を中心に紹介します。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	テキストはありません。資料や必要な教材等は当日に配付します。
受講者の方へ	「数理・情報の世界1・2・3」については、連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：68	
開設講習名	数理・情報の世界3
開講日程	8月12日
担当講師	町頭 義朗、藤井 淳一、藤田 修、望月 久稔、芦野 隆一、守本 晃、森岡 達史、平木 彰、湯浅 久利
講習の概要	数学は数千年の歴史を持ち、学校教育の中で扱われるのはその一部分に過ぎません。通常のカリキュラムでは、積み上げ型の教科の特性として、基礎的な部分を中心に、最先端の話題に触れる余裕がありません。また、コンピュータの発達に伴い、数学においても実験的な要素を取り込むことが可能となってきました。この講座では、数学的な内容についてコンピュータ実習を行います。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	テキストはありません。資料や必要な教材等は当日に配付します。
受講者の方へ	USBメモリーを持参していただければ実習結果を持ち帰れます。 「数理・情報の世界1・2・3」については、連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：69	
開設講習名	こどもに響く音楽表現とは何かー生き生きした授業・活動の秘訣ー
開講日程	8月18日
担当講師	吉野 秀幸、加藤 あや子
講習の概要	音楽とはいったい何でしょうか。楽譜でしょうか、それとも作品でしょうか。いいえ、私たちはそのようには考えていません。楽譜や作品を前提にしたとたん、音楽というものがこどもたちにとってとても難しく、遠い存在になってしまいます。そうではなく、私たちの身近にまずもってこえや音が発生し、「そのとき」「その場所で」「人から人へ」直に共有されるものではないでしょうか。本講習では、音楽が「いま」「ここで」生まれる現場をとともに体験することを通して、音楽が本来持っている力をこどもたちに届けるヒントを探ります。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	特にありません。こちらで用意します。
受講者の方へ	講習内容は音楽に関わるものですが、実際にピアノ等の楽器演奏を求めるものではまったくありません。どのようにしたら音楽的表現を授業等に生かし、こどものからだどころに響かせることができるかに関心があるすべての人の要望にできる限り応えたいと考えています。

講習番号（選択）：70	
開設講習名	成功体験に導く実技指導
開講日程	8月18日
担当講師	松井 祐、橋元 真央
講習の概要	小学校の図画工作と保健体育の教科をとりあげ、「成功体験に導く、魅力的な授業づくり」のための基礎講座として、教師にとって必要な専門的な知識や技能、授業方法や授業展開にかかわるポイントについて実践的な視点から講習を行います。なお、簡単な実習や実技を体験し、実践を通して理解を深めることをめざします。
認定試験	作品および課題シート（図画工作のみ）、課題シート（保健体育）を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	図画工作：制作体験を行ないますので動きやすく、汚れても構わない服装（エプロン）をご準備ください。 保健体育：運動を伴う実技を行ないますので、運動服・体育館シューズ・汗拭きタオル・筆記用具をご準備ください。

講習番号（選択）：71	
開設講習名	漢字・書道の総合的知識を学び、書写教育に生かす
開講日程	8月4日
担当講師	出野 文莉
講習の概要	漢字の成り立ちについて、六書（象形・指事・会意・形声・仮借・転注）を学ぶ。また、白川静の系列文字を学ぶ。さらに、甲骨文・金文・小篆・隸書・楷書・行書・草書などの書体の変遷についてそれらの歴史を学習する。その他に、中国の書法教育の実態に触れ、これらの知識を基にして国語における総合的な書写・書道教育について考察する。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	筆記用具を持参して下さい。

講習番号（選択）：72	
開設講習名	子ども達が「わかった、できた。」と達成感を味わえるような書写の授業を作りましょう！！
開講日程	8月18日
担当講師	瀬川 賢一
講習の概要	小学校国語科（書写）学習における毛筆指導のあり方について、主に3年生で学習する基本的な筆づかひの習得に焦点をあて、児童が「わかった、できた。」と達成感を持たせられるような指導のあり方について考察します。また、小学校国語科（書写）における「かな文字」の書き方、指導方法についても習得、考察します。
認定試験	実技考査を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	講師がすべて準備します。
受講者の方へ	現場で使用するの毛筆書写実技の用具（半紙書き筆・硯・墨液・下敷き・文鎮・書写で使用する半紙・書いたものを置く新聞紙等）を準備してください。

講習番号（選択）：73	
開設講習名	毛筆の範書の書き方と指導方法について
開講日程	8月19日
担当講師	池田 利広
講習の概要	小学校国語科（書写）学習における毛筆指導のあり方について、3年生の基礎技法を踏まえた上で、指導要領にある4年生以上の指導内容に関わる範書の書き方について習得、考察します。また、同時に、それらを用いた指導法の内容についても考えていく予定です。
認定試験	実技考査を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	講師がすべて準備します。
受講者の方へ	現場で使用するの毛筆書写実技の用具（半紙書き筆・硯・墨液・下敷き・文鎮・書写で使用する半紙・書いたものを置く新聞紙等）を準備してください。

講習番号（選択）：74	
開設講習名	図工・美術の教材体験①～石膏を使ってみよう～
開講日程	8月4日
担当講師	加藤 可奈衛
講習の概要	実材をつかった以下の制作を体験し、児童生徒の感性や身体感覚に基づく教材への発展を目指します。 石膏を主素材にして、型取りなどによる造形方法を体験します。また、そこから派生する様々な展開の可能性を探ります。造形材料としての「石膏」についてのオリエンテーションから、身近なものを使い、成形方法の試み、作品制作を行います。教材への展開を視野に入れ「化石をつくろう！」などのテーマにも取り組みます。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	作業着やエプロン等、よごれても良い服装と、手ふき用タオルを用意して下さい。筆記用具の他、持参していただくものは以下です。 牛乳等の紙パック2～3個程度（大きさ形は自由）／金属スプーン大1本（作業用へらとして平らに延ばしてもよいもの・使用済み可）／ビニール手袋（石膏などを使用します。手荒れなど気になる方は持参下さい／作品持帰用袋（レジ袋等） ※「図工・美術の教材体験①～石膏を使ってみよう～」／「図工・美術の教材を活かす①～染色～」／「素材を活かした図工・美術の実践①～粘土と木材～」の講習は連続して受講する事が望ましいです。

講習番号（選択）：75	
開設講習名	図工・美術の教材体験②～石膏を使ってみよう～
開講日程	8月10日
担当講師	加藤 可奈衛
講習の概要	<p>実材をつかった以下の制作を体験し、児童生徒の感性や身体感覚に基づく教材への発展を目指します。</p> <p>石膏を主素材にして、型取りなどによる造形方法を体験します。また、そこから派生する様々な展開の可能性を探ります。造形材料としての「石膏」についてのオリエンテーションから、身近なものを使い、成形方法の試み、作品制作を行います。教材への展開を視野に入れ「化石をつくろう！」などのテーマにも取り組みます。</p>
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	<p>作業着やエプロン等、よごれても良い服装と、手ふき用タオルを用意して下さい。筆記用具の他、持参していただくものは以下です。</p> <p>牛乳等の紙パック2～3個程度（大きさ形は自由）／金属スプーン大1本（作業用へらとして平らに延ばしてもよいもの・使用済み可）／ビニール手袋（石膏などを使用します。手荒れなど気になる方は持参下さい）／作品持帰り袋（レジ袋等）</p> <p>※「図工・美術の教材体験②～石膏を使ってみよう～」／「素材を活かした図工・美術の実践②～染色～」／「素材を活かした図工・美術の実践②～粘土と木材～」の講習は連続して受講することが望ましいです。</p>

講習番号（選択）：76	
開設講習名	図工・美術の教材を活かす①～染色～
開講日程	8月5日
担当講師	佐藤 賢司
講習の概要	<p>実材をつかった以下の制作を体験し、児童生徒の感性や身体感覚に基づく教材への発展を目指します。</p> <p>身近な材料や道具で染めを楽しみながら、基本的な染めの原理や表現の基礎を学びます。植物染料による染色の基本構造の説明後、柏原キャンパス内での染料植物収集し、染料づくり、模様づくり（簡単な絞り）をします。</p> <p>染色・媒染藍染の基本構造の説明後、インド藍による藍甕の作製、模様づくり（簡単な絞り）、をします。実際に染色し作品として仕上げます。</p>
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	<p>作業着やエプロン等、よごれても良い服装と、手ふき用タオルを用意して下さい。筆記用具の他、持参していただくものは以下です。</p> <p>ビニール手袋（手首までの長いもの）／縫針（10本程度）／手縫い糸（太口濃色）／細筆1本／作品持帰り袋（レジ袋等）／30センチ程度の定規または裁縫用メジャー</p> <p>※「図工・美術の教材体験①～石膏を使ってみよう～」／「図工・美術の教材を活かす①～染色～」／「素材を活かした図工・美術の実践①～粘土と木材～」の講習は連続して受講する事が望ましいです。</p>

講習番号（選択）：77	
開設講習名	素材を活かした図工・美術の実践②～染色～
開講日程	8月11日
担当講師	佐藤 賢司
講習の概要	<p>実材をつかった以下の制作を体験し、児童生徒の感性や身体感覚に基づく教材への発展を目指します。</p> <p>身近な材料や道具で染めを楽しみながら、基本的な染めの原理や表現の基礎を学びます。植物染料による染色の基本構造の説明後、柏原キャンパス内での染料植物収集し、染料づくり、模様づくり（簡単な絞り）をします。</p> <p>染色・媒染藍染の基本構造の説明後、インド藍による藍甕の作製、模様づくり（簡単な絞り）、をします。実際に染色し作品として仕上げます。</p>
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	<p>作業着やエプロン等、よごれても良い服装と、手ふき用タオルを用意して下さい。筆記用具の他、持参していただくものは以下です。</p> <p>ビニール手袋（手首までの長いもの）/ 縫針（10本程度）/ 手縫い糸（太口濃色）/ 細筆1本 / 作品持帰用袋（レジ袋等）/ 30センチ程度の定規または裁縫用メジャー</p> <p>※「図工・美術の教材体験②～石膏を使ってみよう～」/「素材を活かした図工・美術の実践②～染色～」/「素材を活かした図工・美術の実践②～粘土と木材～」の講習は連続して受講することが望ましいです。</p>

講習番号（選択）：78	
開設講習名	素材を活かした図工・美術の実践①～粘土と木材～
開講日程	8月6日
担当講師	谷村 さくら、青木 宏子
講習の概要	<p>実材をつかった以下の制作を体験し、児童生徒の感性や身体感覚に基づく教材への発展を目指します。</p> <p>様々な状態の粘土に触れ、遊びを基本に置いた教材研究のための演習を行います。粘土に慣れた後、自分の身体を利用してサラダボールや小皿を作ります。</p> <p>基本的な手道具や電動工具の適切な使い方を説明し、慣れるための演習と他素材を用いた演習をします。木を素材とした造形活動の教材展開、制作物を用いた遊びへの展開を模索します。</p>
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	<p>作業着やエプロン等、よごれても良い服装と、手ふき用タオルを用意して下さい。筆記用具の他、持参していただくものは以下です。</p> <p>雑巾1枚/ 空き瓶や缶など柱形の物/ ハンカチ大の布（不要になった軍手や靴下肌着でも可）/ カッターナイフ/ 彫刻刀（現時点で持っていれば）/ 綿の布（ウエスとして使用。古い肌着1着分ほど）/ 削っていない鉛筆2本/ 作品持帰用袋（レジ袋等）</p> <p>※「図工・美術の教材体験①～石膏を使ってみよう～」/「図工・美術の教材を活かす①～染色～」/「素材を活かした図工・美術の実践①～粘土と木材～」の講習は連続して受講する事が望ましいです。</p>

講習番号（選択）：79	
開設講習名	素材を活かした図工・美術の実践②～粘土と木材～
開講日程	8月12日
担当講師	谷村 さくら、青木 宏子
講習の概要	<p>実材をつかった以下の制作を体験し、児童生徒の感性や身体感覚に基づく教材への発展を目指します。</p> <p>様々な状態の粘土に触れ、遊びを基本に置いた教材研究のための演習を行います。粘土に慣れた後、自分の身体を利用してサラダボールや小皿を作ります。</p> <p>基本的な手道具や電動工具の適切な使い方を説明し、慣れるための演習と他素材を用いた演習をします。木を素材とした造形活動の教材展開、制作物を用いた遊びへの展開を模索します。</p>
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材・参考資料等は、当日に配付します。
受講者の方へ	<p>作業着やエプロン等、よごれても良い服装と、手ふき用タオルを用意して下さい。筆記用具の他、持参していただくものは以下です。</p> <p>雑巾1枚/ 空き瓶や缶など柱形の物/ ハンカチ大の布（不要になった軍手や靴下肌着でも可）/ カッターナイフ/ 彫刻刀（現時点で持っていれば）/ 綿の布（ウエスとして使用。古い肌着1着分ほど）/ 削っていない鉛筆2本/ 作品持帰用袋（レジ袋等）</p> <p>※「図工・美術の教材体験②～石膏を使ってみよう～」/ 「素材を活かした図工・美術の実践②～染色～」/ 「素材を活かした図工・美術の実践②～粘土と木材～」の講習は連続して受講することが望ましいです。</p>

講習番号（選択）：80	
開設講習名	小学校における健康・保健・安全の指導法
開講日程	7月30日
担当講師	赤松 喜久、鉄口 宗弘
講習の概要	<p>小学校体育科および中学校・高等学校保健体育科のなかでも保健領域に属する各分野の留意点を踏まえ、健康・安全指導に関する重要なポイントを総整理します。講義内容については、小中高それぞれの学習指導要領解説（体育編、保健体育編）の記載された内容のうち、近年の学校を取り巻く諸問題をにらみつつ、講師が特に必要と認めたテーマを精選して講義します。</p>
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	授業中に適宜指示ないし資料配付を予定します。
受講者の方へ	<p>講義内容形式となりますので、筆記用具を持参してください。</p> <p>※開設講習名には、小学校と記載されておりますが、中学校・高等学校（保健体育科）の内容を含む講習となっております。</p>

講習番号（選択）：81	
開設講習名	中学校・高等学校における体育理論の指導法
開講日程	7月29日
担当講師	林 洋輔、貴志 泉
講習の概要	中学校・高等学校保健体育科における必修単元「体育理論」の基礎と実際について、終日講義を行います。講習前半では単元「体育理論」で扱う学習内容について体育学人文社会系の知見を参照しつつ、スポーツ文化論の視点も交えながら受講者と議論を行います。講習後半では実際の授業における方法や注意点にも目配りしながら、「体育理論」の授業を成功させるための具体案についても考えていきます。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	授業中に資料配付などを通じて適宜紹介・参照します。
受講者の方へ	講義内容についての所見を筆記していただくことを検討していますので、筆記用具を持参してください。

講習番号（選択）：82	
開設講習名	小学校体育科におけるボール運動系の指導方法
開講日程	7月30日
担当講師	井上 功一
講習の概要	ゲーム・ボール運動領域の学習指導に焦点を当て、型ベースごとに実技を通して受講者自ら運動の特性を実感しながら、それぞれの発達段階に応じた授業づくりの方法を講じていきます。特に投能力を中心としたボールの扱いとネット型（プレルボール・キャッチパレーなど）を中心に取り上げます。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	実技も行います。運動できる服装、体育館シューズ、タオル等を用意してください。また熱中症対策を十分にできるようご準備ください。

講習番号（選択）：83	
開設講習名	小学校器械運動系・表現運動系の指導方法と注意点
開講日程	7月28日
担当講師	千住 真智子、古和 悟
講習の概要	器械運動領域および表現運動領域の学習指導に焦点を当て、導入時の注意事項などについて取り上げるとともに、指導上の留意点や指導方法などを実践を通して学びます。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	特になし
受講者の方へ	運動にふさわしい服装

講習番号（選択）：84	
開設講習名	陸上運動（陸上競技）の授業指導法と注意点
開講日程	7月30日
担当講師	小川 剛司
講習の概要	保健体育科における陸上運動系授業の実践に関して、講義および実技実習を行う。 講義では、1)学習指導要領記載の内容とその意図、2)陸上競技方法論・関連学術分野、3)授業実践の工夫などについて解説する。 実技授業では、「走」に関する陸上競技専門分野から授業実践に落とし込む実技実習を行うとともに、「ハードル走」の教材の工夫について実技実習を行う。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	特に指定ではありませんが、受講先生方の勤務する校種の学習指導要領解説体育編・保健体育編が閲覧できる状況にあるとよろしいかと思います。
受講者の方へ	実技授業は、屋外の陸上競技場で行います。運動を行いますので、涼しい運動のできる服装、ランニングに適したシューズをご用意ください。また、熱中症対策として、水分補給ができる準備とともに、日焼け止め、サングラス、帽子など必要に応じてご用意ください。

講習番号（選択）：85	
開設講習名	ボールゲームの指導（サッカー、バレーボール）
開講日程	7月29日
担当講師	松原 英輝、吉田 雅行
講習の概要	ボールゲームであるサッカー、バレーボールを取り上げ、基本的なボール操作の仕方及びそれをゲームに結びつけるボールの受け渡しに関する原則について講義及び実技を通して説明を行い、先生方の実際のボールゲーム指導へのアイデアにつながることを目的とする。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	実技がありますので、運動が出来る服装を準備して下さい。

講習番号（選択）：86	
開設講習名	小学校体育科における水泳運動系の理論と実践
開講日程	7月28日
担当講師	生田 泰志
講習の概要	水泳運動系の学習指導に重要な2つの内容について講義（午前）と実技（午後）を行います。1つ目は「泳ぎのコツ」についてです。水と親しみ、上手に浮いたり泳いだりするために必要な指導上の工夫の仕方についての理論と実践を行います。2つ目は「水泳と安全」です。講義では、プールや自然の水辺での活動において自らの安全を確保していく上で必要な知識や技術について学び、実技では「着衣泳」を中心に講義内容の確認・体験をします。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	特に無し
受講者の方へ	通常の水泳の準備（水着、スイムキャップ、ゴーグル、タオル等）をしてきてください。さらに、着衣泳も行いますので次の物を用意してください。 ○長袖の上着（必須、ジャージやウインドブレーカ等でOK） ○長ズボン（必須、ジャージやウインドブレーカ等でOK） ○ビニール袋（必須、2Lのペットボトルが2、3本は入る程度の大きさの袋） ○洗ってあるシューズ（選択、靴を履いて泳ぐことを希望する者）

講習番号（選択）：87	
開設講習名	中・高等学校武道単元の指導方法と注意点
開講日程	7月29日
担当講師	太田 順康、石川 美久
講習の概要	中学校および高等学校の武道単元における指導方法と注意点を解説する。対象とする武道種目は剣道および柔道とし、安全な授業の進め方や指導法について講義と実技を通して解説するとともに、指導者に求められる理念について理解を深める。
認定試験	筆記試験を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	教材や資料は、当日に配付します。
受講者の方へ	実技は剣道場および柔道場で行います。柔道は柔道衣を持参してください。剣道は稽古着を貸与します。

講習番号（選択）：88	
開設講習名	体育科・保健体育科に活かすアスレチック・トレーニング
開講日程	7月28日
担当講師	橋本 恒
講習の概要	体育の授業、クラブ活動等で起こり得るスポーツ障害、またはスポーツ傷害の認識、評価法、予防方法、リハビリテーション、リコンディショニング、健康管理学を学びます。講習は前半、座学で知識の習得に、後半は実技で技能の習得に焦点が置かれています。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	こちらで配布します。
受講者の方へ	実技を伴いますので動ける格好で参加してください。

講習番号（選択）：89	
開設講習名	児童・生徒が楽しみながら学習に向かう歌唱授業のノウハウをマスターしよう
開講日程	9月4日
担当講師	田中龍三
講習の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒が歌唱表現の学習に楽しく取り組める授業、楽しく取り組めない授業について、実際に授業をうける児童・生徒の立場になって経験し、教師に求められる指導力について考えます。 ●児童・生徒に寄り添った歌唱指導ができるために、教師に求められる歌唱力、範唱力を、実際に教材曲を用いて、感染防止対策の下、可能な範囲で、歌いながら習得します。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	教材：(仮)小学校、中学校の音楽の教科書に記載の教材曲 参考資料：小学校または中学校の学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編
受講者の方へ	日頃ご担当の音楽科の授業に関して、ご質問等があれば事前のアンケートにお書き下さい。

講習番号（選択）：90	
開設講習名	音楽科における資質・能力の育成をめざす教材研究と学習指導
開講日程	9月11日
担当講師	兼平 佳枝、吉野 秀幸
講習の概要	<p>H29～31改訂の学習指導要領に基づいた音楽科の教材研究と方法研究の実際 子どもの資質・能力の育成をめざし、子ども主体となる授業を実現するための教材研究と方法研究について、受講者による実技や受講者相互によるディスカッションを交えて講義する(兼平)。</p> <p>学習指導要領には、児童生徒が学ぶべき必要条件（「これだけはやってほしい」）が書かれています。つまり、それ以上の事柄については授業者の裁量に任されているのです。本講義では、学習指導要領を踏まえつつも、授業者の裁量を活かした授業実践化のヒントを探ります(吉野)。</p>
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	参考資料：小学校または中学校の学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編
受講者の方へ	—

講習番号（選択）：91	
開設講習名	古来から現代への芸術表現の変化と多様性
開講日程	7月25日
担当講師	猿谷紀郎
講習の概要	指揮を通じて音楽をより理解する。音楽授業における効果的なピアノ伴奏法の研究。作曲、ピアノの各分野より、教科書に記載されている楽曲の見方、扱い方、表現方法等について、実技を交えて講義する。
認定試験	筆記試験を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	ピアノの講義に関しては、小学校用「さくらさくら」「春の小川」「もみじ」、中学校用「夏の思い出」「サンタルチア」「浜辺の歌」、高等学校用「オーソレミオ」の内、いずれか一曲のピアノ伴奏を、あらかじめ練習し（伴奏譜の選択は自由）、当日演奏する楽譜を持参して下さい。（やむを得ぬ事情により練習できない場合は、当日演奏せずに受講して差し支えありません。）
受講者の方へ	-

講習番号（選択）：92	
開設講習名	立体造形制作
開講日程	8月11日
担当講師	五明 真
講習の概要	受講者は、日常生活における利便性や、機器の操作等における接触面積の軽減等の、非接触性の工夫に活用できる手のひらサイズの器具を、エルゴノミクスデザインにも留意し、デザイン、構想し、与えられた素材を用いて、実際に造形制作を行う。
認定試験	実技考査を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	特になし
受講者の方へ	・筆記用具を持参してください。 ・汚れてもよい服装で受講してください。（作業用つなぎが必要なほどではありません。着替える場所はありません。）

講習番号（選択）：93	
開設講習名	映像・メディア教育の教材研究～立体ゾートロープによるアニメーション制作
開講日程	8月12日
担当講師	江藤 亮
講習の概要	映像表現の教材事例として「立体ゾートロープ」によるアニメーションを制作を行います。併せて、アニメーション表現に於ける「動き」の基礎を習得できる教材の紹介や、図画工作で扱うことができる教材事例を紹介した映像資料の鑑賞も行います。
認定試験	実技考査を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	特になし
受講者の方へ	・筆記用具を持参してください。 ・制作に必要な用具類は本学で用意します。

講習番号（選択）：94	
開設講習名	水彩絵の具の楽しい使い方 ー本物そっくりに挑戦ー
開講日程	8月5日
担当講師	寺島 みどり
講習の概要	・絵具の使い方の基礎を抽象技法を実習しながら確認します。 ・拾ってきた石を紙粘土で簡単に模刻し、それを着色することで混色や筆致の基礎を学びます。 ・抽象絵画の技法を参考に実験的ワークショップを行い、絵具を使う楽しさを再確認します ・鑑賞についてのワークショップを行い、作品を見て考えたことを言葉にする楽しさを再確認します。
認定試験	実技考査を講義毎に行い、総合して評価します。
教材・参考資料	・筆記用具を持参してください。 ・水彩道具一式を持参して下さい。水彩道具一式とは、水彩絵具（透明水彩はこの講習に適していません）・絵筆・雑巾・パレット・筆洗 になります。 ・絵具を扱うので汚れても良い服装で来て下さい（教室には着替える所がありませんのでご了承ください） ・大学構内にも近郊にも画材を購入できる所はありませんので、必要なものを忘れないようにして下さい。
受講者の方へ	・筆記用具を持参してください。 ・水彩道具一式を持参して下さい。水彩道具一式とは、水彩絵具（透明水彩はこの講習に適していません）・絵筆・雑巾・パレット・筆洗 になります。 ・絵具を扱うので汚れても良い服装で来て下さい（教室には着替える所がありませんのでご了承ください） ・大学構内にも近郊にも画材を購入できる所はありませんので、必要なものを忘れないようにして下さい。

講習番号（選択）：95	
開設講習名	音楽実技総合演習 ～学び、歌い、奏で～①
開講日程	8月4日
担当講師	神代 修、稲垣 琢磨、中務 晴之、北川 文雄、玉井 裕子、山畑 誠、岡本 麻子、 ト田 隆嗣
講習の概要	音楽教員として必要な実技（歌唱、器楽、指揮法）と知識（楽曲分析、音楽文化論、吹奏楽）を身に付け、スキルアップを目指します。
認定試験	実技考査を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講習当日に配布
受講者の方へ	指揮棒をご用意ください。 ※「音楽実技総合演習 ～学び、歌い、奏で～①, ②, ③」の講習は連続して受講することが望ましいです。

講習番号（選択）：96	
開設講習名	音楽実技総合演習 ～学び、歌い、奏で～②
開講日程	8月5日
担当講師	神代 修、稲垣 琢磨、中務 晴之、北川 文雄、玉井 裕子、山畑 誠、岡本 麻子、 ト田 隆嗣
講習の概要	音楽教員として必要な実技（歌唱、器楽、指揮法）と知識（楽曲分析、音楽文化論、吹奏楽）を身に付け、スキルアップを目指します。
認定試験	実技考査を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講習当日に配布
受講者の方へ	指揮棒をご用意ください。 ※「音楽実技総合演習 ～学び、歌い、奏で～①, ②, ③」の講習は連続して受講することが望ましいです。

講習番号（選択）：97	
開設講習名	音楽実技総合演習 ～学び、歌い、奏で～③
開講日程	8月6日
担当講師	神代 修、稲垣 琢磨、中務 晴之、北川 文雄、玉井 裕子、山畑 誠、岡本 麻子、 ト田 隆嗣
講習の概要	音楽教員として必要な実技（歌唱、器楽、指揮法）と知識（楽曲分析、音楽文化論、吹奏楽）を身に付け、スキルアップを目指します。
認定試験	実技考査を講習終了後に行い、評価します。
教材・参考資料	講習当日に配布
受講者の方へ	指揮棒をご用意ください。 ※「音楽実技総合演習 ～学び、歌い、奏で～①, ②, ③」の講習は連続して受講することが望ましいです。